

# 事業計画書

1 事業の目的

2 事業の経緯

3 事業の概要

4 社内教育体制

# 事業計画書（例）

## 1 事業の目的

一般廃棄物の収集・運搬業務を通して、環境の保全と公衆衛生の向上を目指す。

## 2 事業の経緯

昭和45年4月	(株)〇〇〇〇を設立 仙台市の許可を得て、事業ごみ及び臨時ごみの収集を開始
昭和48年4月	仙台市で浄化槽清掃業の許可を取得する。
昭和50年4月	仙台市で浄化槽汚泥の収集運搬業の許可を取得する。
	・
	・

## 3 事業の概要

排出事業者との契約に基づいて、事務所等から発生する一般廃棄物を自社の収集車両により可燃ごみ、空き缶・空きびんの分別収集を行い、市の処理施設に運搬する。

また、契約先の浄化槽の清掃時に発生する汚泥の収集運搬を行う。

## 4 社内教育体制

(財)日本環境衛生センターが主催する一般廃棄物の講習会を受講した 仙台 太郎に社内教育を担当させる。

また、つきに1度程度社員に対し研修会を行い、一般廃棄物処理に関する知識の向上を図る。

なお、社員に対し、(財)日本環境衛生センターが主催する一般廃棄物の講習会を受講するように努める。